

農業自得

下冊

九	一六八三	和書門
三	二二三〇	
二	七三三	類
冊	架函號	

八三	一六八三	和書
函	二二三〇	
三	七三三	類
架	冊號	

內閣文庫	
番號	和 16833
冊數	2 ( 2 )
函號	183 81

農業自得

水利農務

新刊本

三



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



農業自得卷下

下野國河内郡岸浦生村

田村仁九衛門吉茂著

大麦

農家は第一穀物也。依ては附  
 収行要たる。凡秋の土用中を完と  
 して前田を種も。冬前より冬暖の  
 まで。又春前里も。五  
 ども。秋を。実りあれ。













麦種撰方

○麦種撰方として。粒数多く粒の丸き形は好色  
 白く皮をとりて中熱なるを以て見よ。法  
 づらもの之を白くする。あてはるるあり。よき種  
 と一種。えんみありを二三合り。又を多く種人  
 た。これを合えりみて。耐けを或以余も耐めたり。毛  
 髪をとり。よきの種子を多かり。少種子は又年  
 実り多し。又又六年目お前の通。えんを耐  
 厚く。麦の多かり種。細く長く。若くは種も細長く

是皆多き。粒の丸き多し。麦は一種。種  
 平年少く。又遠年少く。合位を  
 らして。あてはるる。粒の細く。撰む。法  
 ○東京官海のおおの記。是を以て。よき種。好  
 人おとりて。麦を多かり。大麦七合。余有。麦より。撰  
 をとり。むしの作人。た。同知あり。七合。中位。と。よき種  
 する。麦の多かり。あてはるる。よき種。好  
 時。あてはるる。たね。種。の。あてはるる。好  
 里人のより。あてはるる。何はね。よき種。好



〇根初之能く改め飽さぬ勿備なり河原若狭  
 〇おまゝ之たぬありし程なるものありいまんや  
 〇生々春の根元多らぬ穀の移りて是處移りては  
 〇自らは損失ぬ勿備天の眞かお習をてり程  
 〇湯河を無事り飽さるなり

小まゝ

〇小まゝは薄地多しとも思ふるもの之とての土地  
 〇小まゝは兼く畑とて仕附方大まゝかゝりて  
 〇かゝりて土地満ちて好むゆゑ不知扱ひさの事

〇及ぶにさへも大まゝかゝりて事形を  
 〇薄りてはよりそをてりて試みて是を  
 〇とも用ひては移りの割合をたはむ

小まゝ種子割合

〇小まゝ一升の百粒の種り  

 一升の百粒の種りとは一升の種を百粒に割るなり  
 一升の種を百粒に割るなり

〇豊三丈さへ  
 〇横三丈の種り

〇水田穀九成半也  
 〇米尺百一搦りて



一穂の月。拾六粒。附の穂り

を表す。月。四角又は粒あり

を眼歩。月。九千九百粒あり

此井田。是合ハ夕九才。南

を及歩。月

を井。八合九才。南

○種子の種方ハ種短く粒数多く劣ると見え  
ひしつ。ありとらぐ。種長く粒方れ遠く解  
つる。愛り種えし。一。是皆誤なり。馬実

此の如く。種をむすべし

此ハ小麦は。新の力ありて。将留付を。新葉子

類不制方。多。種。農家の。支食。米の。如

り。ある。か。ある。ある。當。時。れ。お。も。も。是。も。も。は。は。は。の。

ある。ある。種。く。作。り。も。あ。れ。ば。も。更。食。り。は。後

失。あり。又。是。實。も。お。一。熟。方。大。麦。り。は。ま。く

して。畑。あ。ま。く。も。あ。る。不。確。他。の。さ。り。り。り。収

畑。あ。ま。く。も。あ。る。を。生。し。種。播。け。て。何。れ。製

して。も。あ。り。と。ら。は。他。ハ。新。中。麦。の。毒。氣

温化候。ゆづり。製成する。あつ。ま。年。の。未。月。れ  
ゆづり。毒。腐。し。温。化。した。あ。な。く。日。あ。登。り  
ら。ず。石。炭。の。食。料。を。れ。能。く。成。す。べ。し。

種子貯方

○大。麦。少。量。を。い。よ。ろ。こ。し。て。お。ろ。ろ。の。種。子。紙。の  
袋。あ。れ。種。子。俵。の。中。あ。れ。ゆ。づ。り。の。貯。り。に。  
初。陽。を。収。納。し。て。大。陽。の。日。を。終。り。あ。れ。土。用。の  
貯。り。を。信。じ。て。生。じ。て。食。料。を。臨。陽。和。合。の。貯。り。也。  
俵。の。中。へ。お。ろ。ろ。の。用。を。い。よ。ろ。こ。し。て。貯。り。に。

臨。陽。和。合。を。い。よ。ろ。こ。し。て。お。ろ。ろ。の。種。子。紙。の  
袋。あ。れ。種。子。俵。の。中。あ。れ。ゆ。づ。り。の。貯。り。に。  
初。陽。を。収。納。し。て。大。陽。の。日。を。終。り。あ。れ。土。用。の  
貯。り。を。信。じ。て。生。じ。て。食。料。を。臨。陽。和。合。の。貯。り。也。  
俵。の。中。へ。お。ろ。ろ。の。用。を。い。よ。ろ。こ。し。て。貯。り。に。

大小豆

あ。な。年。と。土。用。を。い。よ。ろ。こ。し。て。貯。り。に。お。ろ。ろ。の。種。子。紙。の  
袋。あ。れ。種。子。俵。の。中。あ。れ。ゆ。づ。り。の。貯。り。に。



進む前庭うらむる引方い前庭のりうり。たか  
より。午日位とふちりて。収納た能く熟する  
を百知むる

釋

○釋たて熟す。能く類を為して。又中を  
作す。日せ釋ハ八中ハ熟す。小苗代を掘り  
苗代は立植るをさるる。実のりもよう。種  
大麥の熟る中をさる。前植ねハさる。夫  
小苗あり。苗のはる方ハさる。歩か。六月一坪一釋

種子同方口又目わ。所よあつて目わ。教ぬれ  
掘れる。白さむをへ。平さ前庭。中て釋も  
同時をさる。苗七八寸お生を種りたり。をさる。  
一季一日お。たむね立植る。何さ地を。秋の夫  
麦を。前庭を種を掘り。所をえ。一尺一  
株也。一を種。言中位。分て種。を種  
方ハ。一ちとけ。根の方より。一足踏む。  
手取り。種。前庭より。さる。前庭種。さる  
ら。地を。さる。粟。是種。あた。は。年。さる

四地也。地を融く事。して。前種を。此の。事。あ  
 え。を。用ひ。て。実り。多し。あ。え。六。二。ぬ。波  
 粉。融。ら。難。こ。を。用。ひ。て。一。粟。釋。た。と。は。此  
 少。と。た。あ。ゆ。り。意。所。一。と。し。作。ら。ら。る。あ。は。れ。り。  
 石。地。を。融。く。作。も。六。一。及。ト。有。釋。七。石。位。粟。田。農  
 位。と。六。実。所。有。て。意。あり。と。と。も。古。地。も。あ。く。  
 仰。り。人。も。悪。し。あ。れ。六。実。所。減。も。事。際。り。形  
 一。古。地。も。相。愈。多。お。お。の。理。を。考。く。仰。り。づ。  
 粟。釋。た。よ。く。平。く。行。ふ。六。數。千。年。持。て。生。か。ら。

凡。融。候。又。色。く。の。事。時。多。の。事。多。く。不。定。上。の。事。也。

菘

菘。皮。と。細。く。も。存。地。も。作。り。の。あ。れ。る。古。地。に。

多。く。と。里。と。よ。う。え。と。作。ら。れ。四。地。候。六。千。年。忌。こ  
 ま。あ。る。條。論。を。つ。も。を。り。あ。え。六。千。年。を。お。く。用。ひ  
 ま。は。は。は。一。口。月。を。と。り。あ。ら。を。け。苗。を。は。は。し。る。

苗。の。は。は。方。た。大。和。種。の。種。り。ち。ん。坪。一。坪。も。ふ  
 代。を。播。ひ。菘。の。目。方。空。下。作。り。種。位。者。凡。ら。粒。も。を。  
 此。苗。を。下。ト。種。り。六。一。株。身。二。か。つ。り。種。

播種の際は一尺七八寸位あり。一畝は米石半  
程一畝有る百本程を植へばお申知れども。一  
畝種りて前年の仕方の並居るお代はんを重く  
おとりて並ある方を開かす。

胡麻

○お申の前年より。六月終り入て。前初めより  
ともより。四地七八年。お申の種りて。年々  
さへいなり。播種地物を開ひてより。四地  
くもみ。作り時々のこと。さへを開ひて。

茂るなり。但し。お申の種りて。移子を能くみ  
さへを多く開かす。さへを甚く。

里芋

○芋は食の助と云ふ。さへを多く開かす。お申の種りて。  
お申の種りて。日せ芋はわが。さへを  
お申の種りて。粟芋は種りて。お申の種りて。不  
ある。又売の海と云ふ。お申の種りて。お申の種りて。  
お申の種りて。先芋売の種りて。お申の種りて。  
なる。芋のり。色かり。又さへを多く開かす。

見分ありた元小。目字を五五を七七を八八を九九を  
 小強し。一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。一百。

けて播き。一。二。三。四。五。六。七。八。九。十。十一。十二。十三。十四。十五。十六。十七。十八。十九。二十。二十一。二十二。二十三。二十四。二十五。二十六。二十七。二十八。二十九。三十。三十一。三十二。三十三。三十四。三十五。三十六。三十七。三十八。三十九。四十。四十一。四十二。四十三。四十四。四十五。四十六。四十七。四十八。四十九。五十。五十一。五十二。五十三。五十四。五十五。五十六。五十七。五十八。五十九。六十。六十一。六十二。六十三。六十四。六十五。六十六。六十七。六十八。六十九。七十。七十一。七十二。七十三。七十四。七十五。七十六。七十七。七十八。七十九。八十。八十一。八十二。八十三。八十四。八十五。八十六。八十七。八十八。八十九。九十。九十一。九十二。九十三。九十四。九十五。九十六。九十七。九十八。九十九。一百。



収納の付た。茶売茶さりと。能くかきとる。付ふ  
 取納め。出附くる。茶ね。存ひ方。不。野。一。ら。後。と  
 づも。終一の。為。お。い。去。多。く。付。ら。印。ど。よ。ま。あ  
 小茶。城。一通。了。向。く。屋。並。去。と。通。り。入。又。茶。を。入  
 か。ら。の。如。く。小。茶。と。去。と。能。く。合。せ。終。ひ。あ。申。め  
 も。あ。り。と。室。を。茶。あ。り。し。と。申。す。茶。は。徳。分。多。く。あ。ら。か  
 ま。い。念。う。り。お。も。い。と。申。す。仰。り。ぐ。不。申。来。を。ね。ら。ば  
 御。意。も。不。作。と。申。す。能。く。考。得。と。申。す。

甘藷

○さ。い。ま。い。の。徳。分。多。く。仰。り。な。ら。ば。後。子。日。印。一。口  
 だ。れ。の。申。す。ま。ま。申。す。あ。ら。不。作。り。方。を。考。へ。取。納。と。申。す  
 く。多。く。野。列。を。い。は。し。り。す。寛。政。の。初。れ。以。来  
 仰。り。の。り。近。頃。申。す。漸。く。仰。り。方。終。了。方。を。考。へ。え  
 だ。り。ま。い。の。は。ま。ま。方。貯。方。の。大。胆。を。記。す

○苗。は。は。ま。ま。方。の。室。屋。あ。り。て。お。ま。ま。あ。る。もの。を。ね。ら。ば  
 忠。告。を。申。す。け。し。た。ま。い。小。代。の。振。方。は。日。々。之。深  
 さ。七。八。寸。お。不。尺。四。分。位。四。分。を。取。り。上。と。申。す。申。す  
 半。馬。の。お。ぬ。し。え。又。も。毎。の。敷。の。え。ら。茶。年。を。考。へ



了。在正月、菜不植ね。た種多く、これより、  
 りやく。実入るより、ま夏、十月、種より、菜種、  
 月。とんげ種、二、廿日位、の種り、を、ふより、  
 大ふ多あり。種、十月、も、あふ、夢、あ、一、ん、と、  
 つ、ま、り、た、を、と、二、日、あ、一、け、て、  
 も、さ、の、子、長、男、近、と、あ、み、長、と、長、あ、る、長、  
 切、り、の、芽、多、く、つ、ま、り、つ、ま、り、を、一、種、  
 して、種、あ、種、一、も、り、を、り、日、の、種、  
 種、一、年、の、ふ、及、た、種、も、種、り、か、ね、る、時、  
 一、と、ん、と、

可、時、う、け、下、一、早、魁、あ、た、胡、ろ、ろ、水、を、  
 下、り、知、り、地、の、種、地、の、あ、り、ち、地、を、  
 名、隠、地、を、芽、長、く、節、の、を、ま、る、ち、地、の、川、  
 下、り、又、種、ぬ、る、あ、を、入、ま、て、あ、方、より、  
 種、を、種、ひ、も、上、種、一、一、里、少、り、種、  
 味、を、考、へ、二、丈、香、一、也、種、て、夢、  
 せ、り、あ、ふ、実、り、ら、ど、依、る、二、日、  
 了、中、の、実、り、あ、り、一、部、  
 水、り、の、入、ち、地、よ、り、  
 又、上、種、月、も、  
 あり





○おがね水黒ある畑あり。種子の水は清け付  
 みのあねどもあふ清くた甚悪く。そを畑に  
 入るやあまのきね。水おきけらた種はあ  
 ちれて。水もあまのねあまひ。田方あま  
 した。能く織る。二丈一。一

木綿

○綿は生吉地ふりて。種は茶をふり切ぬあり。  
 又ふり切ぬあり。能く織る。二丈一。一  
 作ら。土地はふり。少石あり。此あり。一

○綿は生吉地ふりて。種は茶をふり切ぬあり。  
 又ふり切ぬあり。能く織る。二丈一。一  
 作ら。土地はふり。少石あり。此あり。一















ちゆくさ紙るづ。もし生まほしく風呂  
 ゆとあこのちよりかけよう。生まれて書ふ  
 らい。あさとりけ。暖かおハ。書をよく受させ。  
 墨才せハたちまら。書をけり。あつたれ  
 暖かあ。で。暖か。二寸のあふ一本の刻念  
 小。あつた。生まら。極る手。で。熱むん。  
 暖かあ。を。ほ。又。九。二枚。あつた。  
 時。あ。の。極。せん。け。と。そ。が。あ。  
 ま。あ。う。ま。ま。書。を。よく。う。て。ほ。ま。う。

極るふハ。又。あ。の。あ。で。苗。苗。の。あ。ま。う。  
 よ。ち。あ。の。あ。は。り。ま。あ。ま。又。極。あ。の。せ。え。  
 極。ねん。ら。あ。極。ま。ら。日。あ。け。あ。及。び。あ。  
 こ。え。と。極。あ。の。あ。あ。う。か。ま。ま。せ。て。極。あ。  
 古。か。ま。ま。た。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
 又。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。  
 く。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。



了。移す。所をもあしあす。こゑふ  
 ち。地。年。ある。より。ま。こ。子。所。れ。を。取  
 了。月。た。ね。三。合。更。より。み。日。と。て。足。合。を。行  
 も。み。り。と。て。み。合。と。十。日。の。あ。ふ。こ。な。前。く。  
 皆。回。日。あ。る。も。む。か。り。是。こ。お。ら。れ。り。ま。こ。の  
 畑。合。と。て。用。あ。る。法。を。り。作。一。前。こ。え。の。  
 外。た。あ。る。も。こ。え。を。用。ふ。べ。く。は。又。西。月  
 より。七。八。月。と。の。室。ハ。前。年。あ。ら。ら。り。九。月  
 より。十。二。月。と。て。室。ハ。前。年。あ。ら。ら。り。と。こ。ら。り。

あり。是。候。より。一。足。時。た。か。あ。る。は。実。を。多  
 し。室。ハ。か。こ。ら。ら。る。年。れ。実。を。り。か。

早稲晚稲の法

○早稲は。多。播。場。より。一。里。あ。り。多。く。作。る  
 と。ら。ら。あ。り。又。時。の。あ。る。も。合。せ。田。畑。の。足。合。より  
 仰。り。考。あ。り。れ。く。と。多。く。作。り。と。こ。ら。り。又  
 り。お。ら。れ。の。用。心。を。不。作。り。考。あ。り。日。を。た。ね  
 不。を。実。が。一。足。指。ハ。大。ひ。ふ。を。出。あ。り。中  
 梅。た。た。あ。る。実。を。り。一。足。の。年。も。さ。の。と。

ふ。恐<sup>おそ</sup>せだ。お<sup>お</sup>く<sup>く</sup>。目<sup>め</sup>を<sup>を</sup>飛<sup>と</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>。多<sup>た</sup>く<sup>く</sup>。他<sup>た</sup>ら<sup>ら</sup>の<sup>の</sup>ふ<sup>ふ</sup>あら  
 じ。お<sup>お</sup>ら<sup>ら</sup>た<sup>た</sup>け<sup>け</sup>だ<sup>だ</sup>ん<sup>ん</sup>ど<sup>ど</sup>。細<sup>こ</sup>の<sup>の</sup>く<sup>く</sup>。目<sup>め</sup>を<sup>を</sup>飛<sup>と</sup>ぶ<sup>ぶ</sup>。利<sup>り</sup>  
 あり<sup>り</sup>の<sup>の</sup>い<sup>い</sup>。お<sup>お</sup>ま<sup>ま</sup>。稗<sup>ばい</sup>。本<sup>ほん</sup>。終<sup>しゅう</sup>。た<sup>た</sup>る<sup>る</sup>。お<sup>お</sup>く<sup>く</sup>。もの<sup>もの</sup>。と<sup>と</sup>。手<sup>て</sup>  
 甲<sup>か</sup>り<sup>り</sup>の<sup>の</sup>。た<sup>た</sup>め<sup>め</sup>。お<sup>お</sup>。作<sup>さく</sup>。り<sup>り</sup>。実<sup>み</sup>。ど<sup>ど</sup>り<sup>り</sup>。お<sup>お</sup>く<sup>く</sup>。土<sup>ど</sup>。地<sup>ち</sup>。や<sup>や</sup>。せ<sup>せ</sup>。く<sup>く</sup>。  
 此<sup>こゝ</sup>。他<sup>た</sup>。ふ<sup>ふ</sup>。が<sup>が</sup>。い<sup>い</sup>。あ<sup>あ</sup>。り<sup>り</sup>。そ<sup>そ</sup>。と<sup>と</sup>。ま<sup>ま</sup>。ま<sup>ま</sup>。お<sup>お</sup>く<sup>く</sup>。い<sup>い</sup>。お<sup>お</sup>。ま<sup>ま</sup>。あ<sup>あ</sup>。り<sup>り</sup>。  
 ○男<sup>おとこ</sup>。少<sup>すく</sup>。く<sup>く</sup>。も<sup>も</sup>。百<sup>ひゃく</sup>。も<sup>も</sup>。ふ<sup>ふ</sup>。ろ<sup>ろ</sup>。う<sup>う</sup>。り<sup>り</sup>。を<sup>を</sup>。使<sup>つか</sup>。ひ<sup>ひ</sup>。し<sup>し</sup>。ん<sup>ん</sup>。た<sup>た</sup>。ら<sup>ら</sup>。ふ<sup>ふ</sup>。お<sup>お</sup>。  
 ち<sup>ち</sup>。の<sup>の</sup>。た<sup>た</sup>。ね<sup>ね</sup>。と<sup>と</sup>。ち<sup>ち</sup>。ら<sup>ら</sup>。る<sup>る</sup>。の<sup>の</sup>。あ<sup>あ</sup>。り<sup>り</sup>。え<sup>え</sup>。来<sup>き</sup>。も<sup>も</sup>。ち<sup>ち</sup>。の<sup>の</sup>。  
 り<sup>り</sup>。あ<sup>あ</sup>。り<sup>り</sup>。男<sup>おとこ</sup>。上<sup>かみ</sup>。の<sup>の</sup>。足<sup>あし</sup>。り<sup>り</sup>。を<sup>を</sup>。走<sup>はし</sup>。る<sup>る</sup>。も<sup>も</sup>。あ<sup>あ</sup>。ま<sup>ま</sup>。と<sup>と</sup>。な<sup>な</sup>。  
 さ<sup>さ</sup>。ら<sup>ら</sup>。あ<sup>あ</sup>。ら<sup>ら</sup>。は<sup>は</sup>。は<sup>は</sup>。ち<sup>ち</sup>。を<sup>を</sup>。か<sup>か</sup>。ん<sup>ん</sup>。ま<sup>ま</sup>。の<sup>の</sup>。破<sup>やぶ</sup>。り<sup>り</sup>。方<sup>かた</sup>。よ<sup>よ</sup>。り<sup>り</sup>。何<sup>なに</sup>。ふ<sup>ふ</sup>。

よ<sup>よ</sup>。ろ<sup>ろ</sup>。と<sup>と</sup>。ん<sup>ん</sup>。身<sup>み</sup>。代<sup>しろ</sup>。も<sup>も</sup>。あ<sup>あ</sup>。ら<sup>ら</sup>。か<sup>か</sup>。貧<sup>ひん</sup>。乏<sup>ぼう</sup>。を<sup>を</sup>。衣<sup>い</sup>。は<sup>は</sup>。り<sup>り</sup>。布<sup>ふ</sup>。り<sup>り</sup>。ぬ<sup>ぬ</sup>。ゆ<sup>ゆ</sup>。ふ<sup>ふ</sup>。  
 自<sup>ま</sup>。ら<sup>ら</sup>。ぬ<sup>ぬ</sup>。と<sup>と</sup>。え<sup>え</sup>。を<sup>を</sup>。む<sup>む</sup>。し<sup>し</sup>。突<sup>つ</sup>。人<sup>ひと</sup>。た<sup>た</sup>。ま<sup>ま</sup>。使<sup>つか</sup>。ひ<sup>ひ</sup>。し<sup>し</sup>。ん<sup>ん</sup>。た<sup>た</sup>。ら<sup>ら</sup>。ふ<sup>ふ</sup>。  
 又<sup>また</sup>。男<sup>おとこ</sup>。く<sup>く</sup>。家<sup>いへ</sup>。を<sup>を</sup>。略<sup>りやく</sup>。し<sup>し</sup>。  
 一<sup>いっ</sup>。緒<sup>お</sup>。た<sup>た</sup>。糸<sup>いと</sup>。を<sup>を</sup>。懸<sup>か</sup>。り<sup>り</sup>。か<sup>か</sup>。つ<sup>つ</sup>。作<sup>さく</sup>。ら<sup>ら</sup>。す<sup>す</sup>。  
 一<sup>いっ</sup>。ち<sup>ち</sup>。麦<sup>むぎ</sup>。を<sup>を</sup>。種<sup>たね</sup>。り<sup>り</sup>。ひ<sup>ひ</sup>。く<sup>く</sup>。よ<sup>よ</sup>。り<sup>り</sup>。年<sup>とし</sup>。を<sup>を</sup>。種<sup>たね</sup>。り<sup>り</sup>。は<sup>は</sup>。る<sup>る</sup>。い<sup>い</sup>。を<sup>を</sup>。  
 一<sup>いっ</sup>。ち<sup>ち</sup>。の<sup>の</sup>。あ<sup>あ</sup>。り<sup>り</sup>。  
 一<sup>いっ</sup>。粟<sup>あは</sup>。四<sup>し</sup>。代<sup>だい</sup>。の<sup>の</sup>。ち<sup>ち</sup>。年<sup>ねん</sup>。種<sup>たね</sup>。り<sup>り</sup>。ら<sup>ら</sup>。ら<sup>ら</sup>。あ<sup>あ</sup>。り<sup>り</sup>。と<sup>と</sup>。四<sup>し</sup>。代<sup>だい</sup>。年<sup>ねん</sup>。

四<sup>し</sup>。代<sup>だい</sup>。の<sup>の</sup>。地<sup>ち</sup>。は<sup>は</sup>。修<sup>しゆ</sup>。り<sup>り</sup>。お<sup>お</sup>。け<sup>け</sup>。を<sup>を</sup>。け<sup>け</sup>。芸<sup>ぎ</sup>。



一 稲刈り又六年。おろ。粟。三び。もうこう  
 一 一ひ。之。四年。ソモ

一 大。小。豆。大。麦。同。為。地。二。三。年。三。一  
 一 花。田。四。六。年。おろ。不。あ。た。ね。あ。ま。あ。こ。こ。は  
 年。ソモ

一 胡。麻。田。七。八。年。お。か。ぼ。あ。る。花。あ。も。り  
 一 又。年。ソモ。ま。さ。た。麻。を。手。た。る。花。一。前。バ。り  
 一 一。実。の。一。び

一 本。終。四。地。た。さ。の。ソ。年。ソ。モ。さ。り。あ。ら。こ。ん。多  
 一 一。年。大。根。の。地。ソ。モ

一 一。茶。豆。四。地。た。さ。ら。あ。実。の。一。び。七。八。年。以。外  
 一 一。豆。も。好

一 一。蚕。豆。ふ。ん。ご。う。の。海。り。ソ。モ

一 一。茅。田。地。あ。二。年。ソ。モ。お。か。り。さ。び。も。ら。ら。う

一 一。あ。七。八。年。ソ。モ。釋。を。使。未。四。又。年。ソ。モ

一 一。一。ら。ま。い。も。田。地。た。ま。ら。ら。ら。だ。そ。外。振。多。さ。お

一 一。年。も。ソ。モ

一 大根 四代。さのときららひん。あまねひ。一年  
いむ。まねハ根多き物。あまねひ。

一 タウ根 四代。七八年。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 茄子 四代。七八年。いむ。まねハ根多き物。いむ。

いむ。まねハ根多き物。

一 外丹 丹多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。  
いむ。まねハ根多き物。いむ。まねハ根多き物。いむ。

好地

一 大根 四代。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 少根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 多根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 多根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 多根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 多根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 多根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 大根 多根の畦。いむ。まねハ根多き物。いむ。

一 菴本稻あり。少葉あり。  
一 大由葉あり。九葉あり。  
一 本稻あり。少葉あり。  
一 大由葉あり。九葉あり。  
一 菴本稻あり。少葉あり。  
一 大由葉あり。九葉あり。  
一 本稻あり。少葉あり。  
一 大由葉あり。九葉あり。

正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。  
正の作あり。先本稻あり。少葉あり。

誓をすめねば。おく多くなりて。あつるす  
 か。み外教お。那業海その教。あま  
 とつも。精とまふ。い。平吉良の根本たり  
 依。後子別念を。つ。教おの。一助た  
 らんおの。古。お。後。あ。る。ま。代。前の。理  
 を。以て。お。り。て。あ。り。了。又。問。て。の。答。お。い。こ。を  
 おの。古。氏。と。て。あ。ま。り。と。つ。が。お。業。あ。れ  
 新。市。町。近。の。人。た。こ。も。ど。り。も。く。り。お。お  
 條。不。記。と。こ。り。り。を。思。く。お。お。今。の。定。法

ありとつ。も。よ。く。こ。つ。あ。る。え。ま。向。あ。ま。大  
 少。あ。る。方。を。用。お。ご。一。年。ま。り。し。た。り。あ。ま。い  
 ころ。ころ。大。眼。あ。ね。ば。い。お。ま。り。して  
 耕。作。を。あ。し。耐。え。何。ま。よ。り。後。り。の。後。お。不  
 て。も。只。年。作。る。は。ま。作。お。の。ん。を。ま。り。め。い  
 せ。り。の。り。こ。ろ。が。あ。り

○大。ま。少。ま。の。後。子。の。今。所。た。ま。り。所。を。出  
 一。口。つ。を。ち。り。か。り。は。く。り。ま。り。ぬ。り。子



不書行

田代

ごきりれま申よりくだし。匠を令せご  
し。さもなくして。かとりりて。まあし。ま  
し。こええも。あのみかごと。いれさうし。え  
ほぐぬし。

緒他収納方

○指ね極端なところ時外り締めごと。いま  
だ。おせ。粒のあつ時。収納とねば。一割の扱  
あり。さらし性よくとらね。一刻余の扱  
たり。又ありたる指ねあり。さらしとらね。

目を更さる。おねまきし。さうし。外とね。米  
一。倍して。おねまき。十日余。日  
を更ね。実り。さらし。おねまき。おね  
外。さらし。おねまき。おねまき。おねまき  
○粟おね。極端なところ。締めごと。おねまき  
○大まね。おねまき。おねまき。おねまき。おねまき  
袖のある。外。さらし。おねまき。おねまき。おねまき  
袖を。さらし。おねまき。おねまき。おねまき。おねまき  
さらし。おねまき。おねまき。おねまき。おねまき

長巻

下巻

日付

○小まをそとこころ。在たあのおぬ初まを

○茅の熟いよく。熟くたけり。去中一実

のり熟い熟たぬり。地まそののりまのた

まをりた後子。ちおまをりり

○此卯まふ熟くま方お後あり。ま後を考へ

又風雨少ぬおの。えまをりりおまをりり

おまをりり

諸木植方

○松松そ卯とも。秋実まをりり。日ぬお後代を

播へのこざりりくどを。木の實おまをりり。まの

彼岸ふまをりり。又い三年目お別の

おまへ代をりり。一尺坪一本の割合を

てまをりり。植考へり。まをりり。中一

木の葉も。又まをりり。まをりり。ためれぬを。まをりり

まをりり。まをりり。まをりり。まをりり。まをりり

まをりり。まをりり。まをりり。まをりり。まをりり

二三年目お。まをりり。まをりり。まをりり。まをりり

まをりり。まをりり。まをりり。まをりり。まをりり

たり。後本もも不彼者限る不越ぐ。  
 又大木也。一年ふまづ一方の根をきりこ  
 中しとて。四方に年あきり枝を半分  
 伐りて植ぬ。植りての形。諸木八十八  
 本。おほく植ぐ。と。あねも茂りあへく。  
 植も多し。此れ人なる首をよとと會新  
 世角也。そを積り。新依依を木ハを  
 とりしとて。ち中不植入。まてふ異れども。  
 諸院和合しと。天知り此の事を。

て生也。一。おほく大陰ふして。陽氣引也  
 去中温をり。人石氣あたふ。陽氣引也。  
 入りて陰氣外を包む。内温あて。仲のりて  
 実健かり。おほく無る。水をもぬれども。いの  
 ちを。保つと。長より。大木長し。此れとりり  
 て。おほく。あねも。あねも。あねも。あねも。あねも。  
 ぬふ。あねも。植て。よとと。あねも。あねも。あねも。  
 だ。陰陽和合の氣なく。二月二月。あねも。あねも。  
 ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。ぬれ。



三月の終り。十月より植て。よまのねども。室  
 敷。をまねふ。心。を重く。おく。能。紙。を  
 植て。又八十ハ新より。入。植の。氏。た。あ。年  
 多。ま。あ。り。根。付。よ。う。さ。中。う。か。れ。ど。地。中。ふ  
 陽。光。さ。が。し。と。知。新。り。方。も。あ。と。年。ふ。  
 お。ろ。ろ。た。り。し。も。ふ。植。も。多。し。極。盛。園  
 へ。を。さ。ら。さ。る。時。を。き。ん。ん。と。

竹の植方

○から作。を。植。り。あ。れ。よ。と。新。と。あ。く。と。新。竹

を。あ。か。あ。ふ。り。雜。木。を。伐。ち。し。二。日。中。より  
 之。月。中。に。傳。ふ。植。て。よ。し。を。云。枝。も。新。し。  
 土。を。き。り。て。植。り。の。ち。ね。ど。も。あ。り。て。く。は。植。出  
 せ。ち。い。の。も。と。あ。る。竹。を。あ。り。て。植。お。ま。ら。せ  
 き。ら。ど。ふ。植。れ。ば。新。り。よ。し。あ。く。こ。え。を。用  
 り。あ。れ。ば。新。り。か。り。且。細。く。用。め。る。竹。を。培。ま  
 せ。し。は。く。の。り。か。り。竹。た。う。と。根。取。り。の。あ  
 ち。地。の。よ。う。し。を。き。ら。い。ど。植。ち。う。と。根。が  
 と。あ。ふ。枝。の。丹。つ。た。ち。竹。を。い。て。植。の。木



た。暗くも所。よくある。樹の根。根。根。納。  
 得。く。前。死。せ。り。ふ。も。於。手。末。を。と。ら。  
 一。耕。作。を。と。と。ば。奴。一。易。か。ら。う。づ。  
 結。教。を。家。を。多。く。性。を。教。ま。り。て。亦。多。く  
 妻。搦。え。法。を。妻。多。く。少。妻。大。少。を。粟。稗。  
 少。む。り。手。傳。皆。ま。り。を。方。々。く。若。く。も。え。か  
 く。の。み。く。あ。と。付。た。十。人。の。技。持。り。方。あ。り。致  
 一。一。先。一。人。の。耕。一。分。凡。教。を。妻。と。し。之  
 十二。石。は。と。り。五。十一。石。を。り。外。教。を。合。十。六

石。を。り。教。妻。二十。二。石。一。割。も。り。増。せ。二。石  
 二。中。増。せ。増。え。も。合。せ。て。十八。石。二。中。之。  
 是。十。人。の。技。持。あり。已。ら。が。一。代。三。十。年。  
 耕。せ。六。十。年。後。の。方。十。年。之。石。の。益。を。り。  
 其。傳。通。過。ゆ。積。む。二。割。余。も。益。あ  
 る。づ。自。他。後。代。の。益。身。に。及。り。す。  
 其。傳。の。所。少。原。法。を。自。他。多。く。思  
 ふ。其。の。何。ら。や。一。代。死。一。世。家。の。一。切。た  
 ら。ん。り。や。お。ひ。傳。を。を。き。妙。と。し。り。も。

農業自傳

十四十二

目下七上段

予々りも農者なり。多々申ふたと。一りの。  
 齟齬あるとも。一畑一夕おをを那をせず。  
 ありそ業の未天程ふ。あらしの如ある。  
 うまきと土畑と。季候と。培の難ひ多。  
 ありありの。あらし候と。理那をたど  
 のまむぢを。希ふの。理那をたど  
 予々りも農者なり。多々申ふたと。一りの。  
 齟齬あるとも。一畑一夕おをを那をせず。  
 ありそ業の未天程ふ。あらしの如ある。  
 うまきと土畑と。季候と。培の難ひ多。  
 ありありの。あらし候と。理那をたど  
 のまむぢを。希ふの。理那をたど

農業自得卷下

田村仁左衛門

田村仁左衛門著

安政四年丁巳菊月新雕

神田旅籠町二丁目

紙屋徳八

